

平成 26 年度 三重大学修学達成度評価 報告書（概要）

－三重大学生の 4 つの力に関するアンケート－

高等教育創造開発センター 教育評価部門

1. アンケートの概要

1.1 アンケート 1（春実施）

調査対象 平成 26 年度新入学生 1,373 名

調査方法 新入生が受講する授業等にて、アンケート用紙を学生に配付・回収した。

調査時期 平成 26 年 4 月～5 月

有効回答者数（率） 1,187 名（86.5%）

1.2 アンケート 2（秋実施）

調査対象 三重大学に在籍する学部生 6,148 名

調査方法 三重大学ウェブ調査システムを用いて実施した。

（一部の学科・学年において紙媒体での回答があった）

調査時期 平成 26 年 8 月～9 月

有効回答者数（率） 4,646 名（75.6%）



1.3 分析対象者数

有効回答者より所属不明の学生のデータと在籍年数が 5 年目以上（医学科は 7 年目以上）の学生のデータを除外した。アンケート 1 の分析対象者は、1,179 名、アンケート 2 は、4,522 名であった。

表1 分析対象者数

		人文	教育	医	工	生物資源	合計
1年目	調査1 (春)	173	200	203	359	244	1,179
1年目	調査2 (秋)	210	201	203	379	247	1,240
2年目		240	206	153	346	250	1,195
3年目		240	198	148	367	236	1,189
4年目		132	195	135	256	115	833
5年目				5			5
6年目			60			60	

2. 「4 つの力」の結果について

2.1 「感じる力」

(1) 「感じる力」の得点について

大学の学習への動機づけを感じる力をアンケート 1 では 21 項目、アンケート 2 では 24 項目を設定し、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の 5 段階で回答を求めた。



- ・価値に関する得点（「利用価値」や「社会的利用価値」、「興味価値」、「私的獲得価値」）は、1年目春の学生の平均値が高かったが、1年目秋になると低下した。1年目春の動機づけの高さの維持が難しいことを示している。1年目春の平均値の高さは、入学時の期待が過大化した表れとも考えられる。
- ・アンケート2（1年目秋～4年目の学生対象）において、学年間で比較すると1年目秋と4年目の学生はどの得点も平均値が高く、動機づけが高かった。一方、2年目と3年目の学生はどの得点も平均値が低く、動機づけが低かった。

表2.1.1.1 感じる力の得点 平均値(全学生)

	効力予期	利用価値	社会的利用価値	興味価値	私的獲得価値	感情的要因	社会的環境	動機づけ総合指標
1年目春	3.26	4.24	3.96	3.67	4.27	2.87	3.67	-
1年目秋	3.29	3.93	3.74	3.47	3.95	2.84	3.55	3.48
2年目	3.17	3.66	3.52	3.32	3.69	2.76	3.46	3.37
3年目	3.20	3.69	3.56	3.34	3.73	2.70	3.48	3.45
4年目	3.37	3.77	3.69	3.45	3.82	2.72	3.63	3.55
全学年	3.25	3.76	3.62	3.39	3.80	2.76	3.52	3.46

※得点の幅は1～5点。中点は3点。

※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

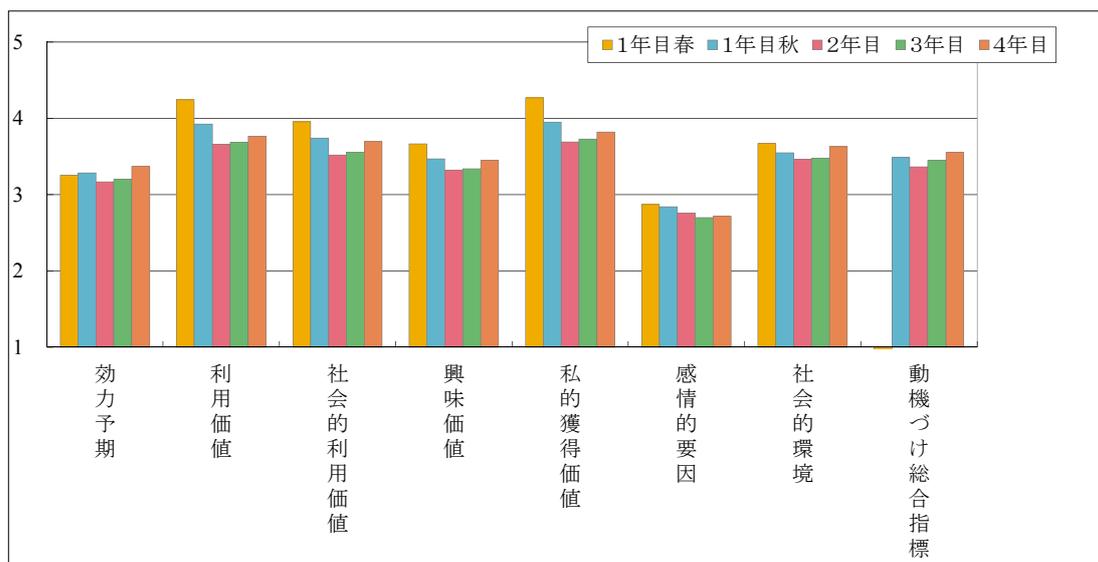


図2.1.1.1 感じる力の得点 平均値(全学生)

効力予期	学習をやり遂げることができると感じること
利用価値	学習が自分の将来に役立つという価値づけ
社会的利用価値	学習が他者や社会に役立つという価値づけ
興味価値	取り組む課題が面白いと感じる価値づけ
私的獲得価値	学習することによって、なりたい自分に近づけると感じる価値づけ
感情的要因	学習に対して感じる感情(平均値が高いほどポジティブな感情)
社会的環境	学習をサポートしてくれる他者の存在
動機づけ総合指標 (調査2のみ)	大学での学習に積極的に取り組む姿勢

(2) 「心身の健康」に対する意識について

規則正しい生活について「心がけていない」から「心がけている」の5段階で回答を求めた。

- ・どの学年も平均値が3.5点（中点は3点）付近であり、規則正しい生活を心がけていることが示された。

表2.1.1.2 規則正しい生活についての平均値(全学生)

	規則正しい生活を心がける
1年目春	3.72
1年目秋	3.65
2年目	3.41
3年目	3.41
4年目	3.57
全学年	3.51

※得点の幅は1～5点。中点は3点。
 ※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

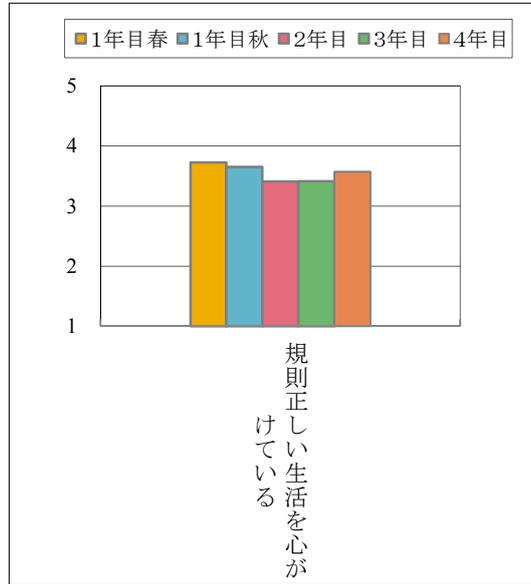


図2.1.1.2 規則正しい生活についての平均値(全学生)

(3) 「感じる力」の習得について

感じる力の習得に関する2項目について、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の5段階で回答を求めた。

表2.1.1.3 感じる力の習得についての平均値(全学生)

	も「感じる力」を身に付けるために苦しいと感じますか	教「育を感じる力」は三重大大学の
1年目春	4.09	3.86
1年目秋	3.75	3.49
2年目	3.47	3.28
3年目	3.56	3.26
4年目	3.63	3.31
全学年	3.60	3.34

※得点の幅は1～5点。中点は3点。
 ※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

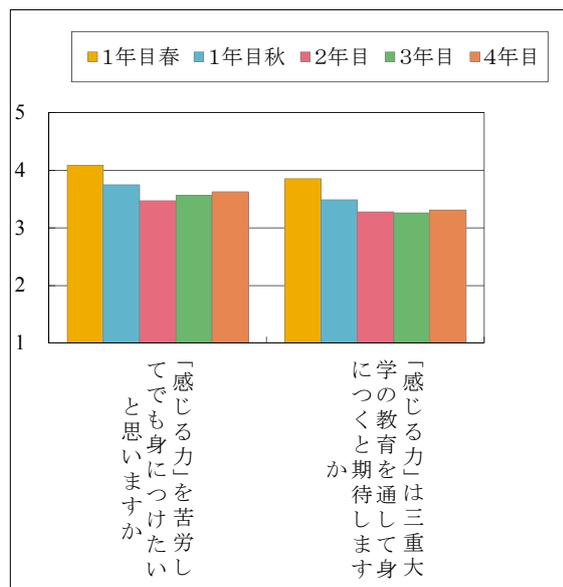


図2.1.1.3 感じる力の習得についての平均値(全学生)

- ・2項目とも1年目春の学生の平均値が最も高かった。入学直後の学生は、感じる力を身につけたいと考えており、また大学教育に対する期待も高いことが示された。
- ・2年目の学生は他の学年と比べると、苦勞してでも感じる力を身につけたいとあまり思っていないことが示された。
- ・他の3つの力（考える力・コミュニケーション力・生きる力）の習得についての結果と比べると、感じる力の2項目は平均値が低かった。

2.2 「考える力」



(1) 「考える力」の志向性と経験について

考える力について、志向性12項目と経験12項目を設定した。志向性は、「全くなりたくない」から「非常になりたい」の7段階で回答を求めた。経験は、「全くしていない」から「いつもしている」の7段階で回答を求めた

- ・志向性の「要点理解」と「決断力」について、全学年を通して平均値が高かった。学生が問題の要点を理解し、物事に対して適切に決断するような人になりたいと考えていることが示された。特に1年目（春・秋）の学生がそのようになりたいと考えているようである。
- ・1年目春の学生は他の力の得点も含めてどの得点も高い傾向にあるが、志向性の「論理・証拠の重視」や「脱軽信」の平均値は低かった。入学直後の学生は、4つの力の様々な側面について成長したいと考えていることが示されているが、論理や証拠に基づいて考えたり、情報を鵜呑みにせず正しいかどうかを考えたりすることにはあまり志向していないようである。
- ・経験の4得点について、学年間で比較すると4年目の学生の平均値が高かった。4年目の学生は、考える力を使うような経験をしていると感じているようである。
- ・「要点理解」と「決断力」について、志向性の平均値は高いが経験は低かった。問題の要点を理解し、適切に判断するような人を目指しているが、そのような経験をしているとあまり感じていないようである。

表2.1.2.1 考える力 志向性と経験の平均値(全学生)

	志向性				経験			
	要点理解	論理・証拠の重視	脱軽信	決断力	要点理解	論理・証拠の重視	脱軽信	決断力
1年目春	6.32	4.99	5.12	5.91	—	—	—	—
1年目秋	6.10	5.07	5.22	5.76	4.92	4.62	4.73	4.70
2年目	5.71	4.90	4.99	5.38	4.71	4.54	4.57	4.52
3年目	5.77	4.97	5.03	5.44	4.84	4.66	4.66	4.59
4年目	5.80	5.04	5.08	5.55	5.00	4.78	4.74	4.81
全学年	5.85	4.99	5.08	5.53	4.86	4.64	4.67	4.64

※得点の幅は1～7点。中点は4点。

※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

	志向性	経験
	(下記のような人になりたいかどうか)	(最近、下記のような経験したか)
要点理解	問題の要点を素早くつかんで理解する	
論理・証拠の重視	論理や証拠を重視し、それに基づいて考える	
脱軽信	情報を鵜呑みにせず、本当に正しいのかいったん考える	
決断力	物事に対して、いつまでも思い悩まず、適切に決断する	

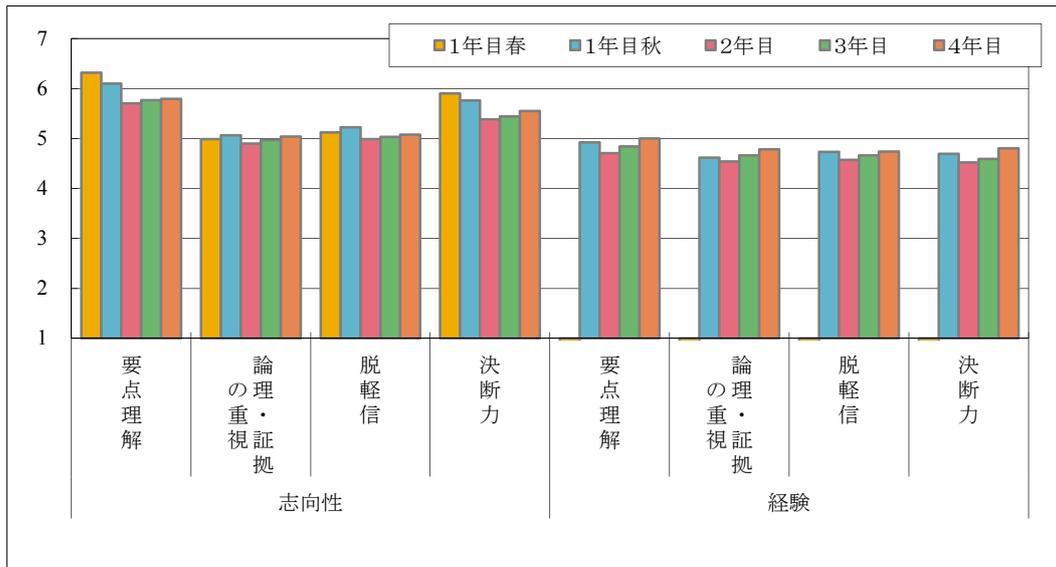


図2.1.2.1 考える力 志向性と経験の平均値(全学生)

(2) 「考える力」の習得について

考える力の習得に関する2項目について、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の5段階で回答を求めた。

- ・ 2項目とも、1年目春の学生の平均値が最も高かった。入学直後の学生は、考える力を身につけたいと感じ、大学教育に対する期待も高いようである。
- ・ 2年目の学生は他の学年と比べると、苦勞してでも考える力を身につけたいとあまり思っていないことが示された。
- ・ 他の3つの力（感じる力・コミュニケーション力・生きる力）の習得についての結果と比べると、考える力は大学教育に対する期待が高かった。

表2.1.2.2 考える力の習得についての平均値(全学生)

	「考える力を身につけるか」と苦勞してまで	「考える力を通して身は重大か」と大学の
1年目春	4.34	4.02
1年目秋	3.99	3.73
2年目	3.71	3.47
3年目	3.77	3.47
4年目	3.81	3.50
全学年	3.82	3.55

※得点の幅は1～5点。中点は3点。
 ※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

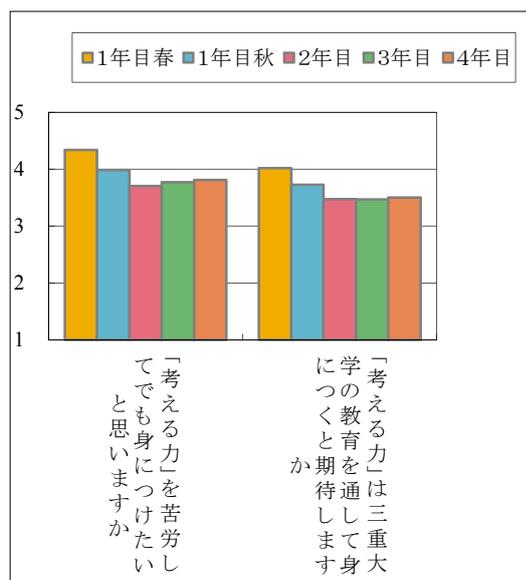


図2.1.2.2 考える力の習得についての平均値(全学生)

2.3 「コミュニケーション力」



(1) 「コミュニケーション力」の志向性と経験について

コミュニケーション力について、志向性9項目と経験9項目を設定し、志向性は、「全くなりたくない」から「非常になりたい」の7段階で回答を求めた。経験は、「全くしていない」から「いつもしている」の7段階で回答を求めた。

- ・志向性の「多様性理解」と「他の理解」については、1年目春の学生の平均値は高かったが、1年目の秋には低下した。入学直後の学生は、人によって多様な意見を持っていることを理解したり、他者の考えや意見を理解したりする人になりたいという志向性は高いが、そのなりたいたいという気持ちを維持することが難しいようである。
- ・2年目の学生は、他の学年と比べると志向性・経験のどの得点も平均値が低かった。

表2.1.3.1 コミュニケーション力 志向性と経験の平均値(全学生)

	志向性			経験		
	多様性理解	他の理解	真正性	多様性理解	他の理解	真正性
1年目春	5.96	6.10	5.56	—	—	—
1年目秋	5.75	5.87	5.52	5.04	5.29	4.64
2年目	5.39	5.48	5.24	4.79	4.94	4.51
3年目	5.46	5.54	5.30	4.91	5.08	4.60
4年目	5.55	5.61	5.36	5.03	5.16	4.73
全学年	5.54	5.63	5.35	4.93	5.12	4.61

※得点の幅は1～7点。中点は4点。

※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

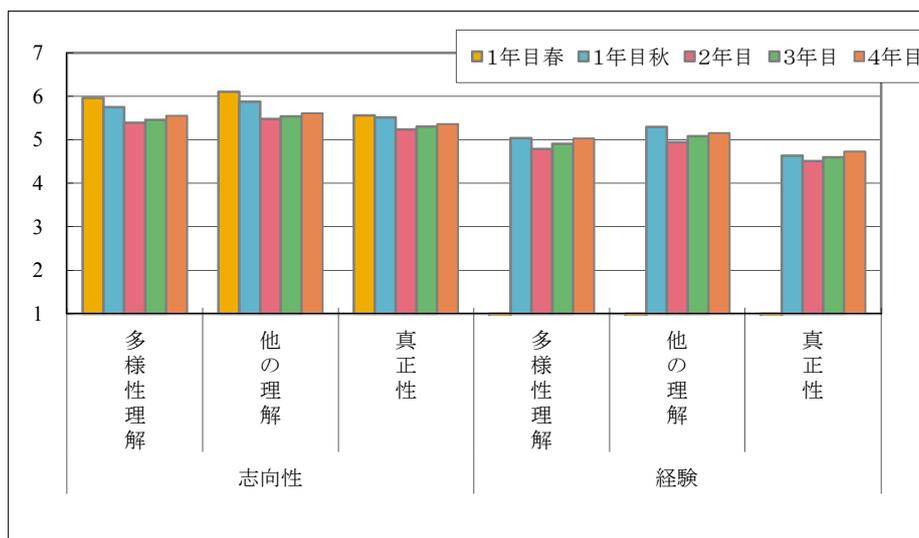


図2.1.3.1 コミュニケーション力 志向性と経験の平均値 (全学生)

	志向性	経験
	(下記のような人になりたいかどうか)	(最近、下記のような経験したか)
多様性理解	人によって多様な意見を持っていることを理解する	
他の理解	他者の考えや意見を理解する	
真正性	他者の考えに対して正しいかどうかを指摘する	

(2) 「コミュニケーション力」の自信について

コミュニケーションの自信についての4項目を設定し、「全く自信がない」から「非常に自信がある」の5段階で回答を求めた。

- 「英語コミュニケーション」や「ディスカッション」、「プレゼンテーション」に対する自信は、1年目春の学生の平均値が最も低かったが、1年目秋になると平均値が上がっていたため、自信を持てるようになったことが示された。また、上記の3つの得点については、4年目の学生の平均値が高かった。しかし、どの学年も中点の3点（5段階評定の「どちらともいえない」にあたる）を下回っていることから、全学生が英語コミュニケーションやディスカッション、プレゼンテーションにどちらかといえば自信を持っていないということである。

表2.1.3.2 コミュニケーション力 自信の平均値(全学生)

	自信			
	英語コミュニケーション	ディスカッション	プレゼンテーション	友人とのコミュニケーション
1年目春	1.93	2.54	2.31	3.25
1年目秋	2.33	2.81	2.69	3.36
2年目	2.35	2.71	2.66	3.18
3年目	2.31	2.76	2.70	3.26
4年目	2.52	2.96	2.88	3.42
全学年	2.36	2.80	2.72	3.30

※得点の幅は1～5点。中点は3点。

※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

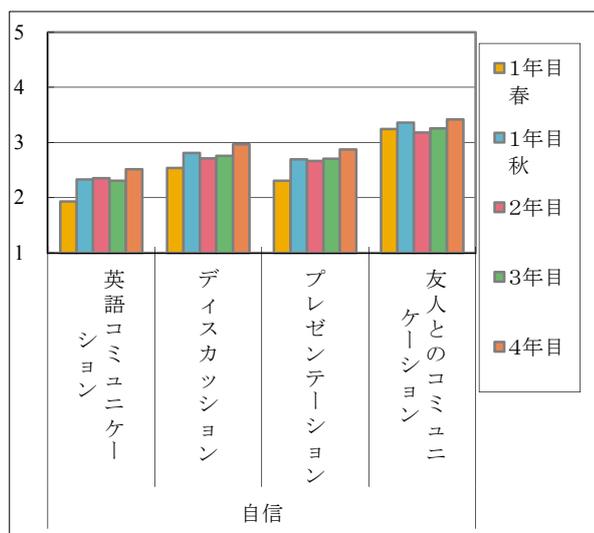


図2.1.3.2 コミュニケーション力 自信の平均値(全学生)

(3) 「コミュニケーション力」の習得について

コミュニケーション力の習得に関する2項目について、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の5段階で回答を求めた。

- 「苦勞してでも身につけたいと思いますか」は、全学年の平均値が4点（5段階評定の「そう思う」にあたる）付近と高く、どの学年もコミュニケーション力を身につけたいと感じている。その中では、1年目春の学生の平均値が高く、2年目の学生の平均値は低かった。
- 「三重大の教育を通して身につくと期待しますか」は、1年目春の平均値が高く、高学年の平均値が低かった。高学年の学生は大学教育に対する期待はあまり高くないようである。
- 他の3つの力（感じる力・考える力・生きる力）の習得についての結果と比べると、2項目間の平均値の差が大きく、苦勞しても身につけたいが、大学教育への期待は高くないようである。

表2.1.3.3 コミュニケーション力の習得
についての平均値(全学生)

	「コミュニケーション力」を身につけて苦勞してでも身につけたいと思いませんか	「三重大学のコミュニケーション力」を身につけて苦勞してでも身につけたいと思いませんか
1年目春	4.50	4.05
1年目秋	4.17	3.68
2年目	3.79	3.41
3年目	3.87	3.32
4年目	3.90	3.40
全学年	3.94	3.46

※得点の幅は1～5点。中点は3点。
※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

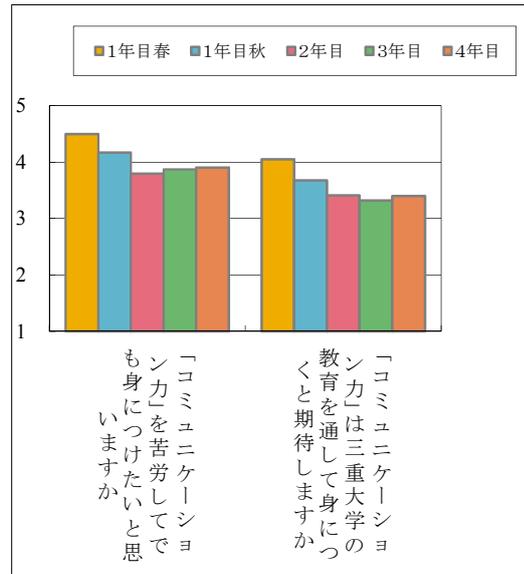


図2.1.3.3 コミュニケーション力の習得についての平均値 (全学生)

2.4 「生きる力」



「生きる力」の習得について

生きる力の習得に関する2項目について、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の5段階で回答を求めた。

- ・2項目とも1年目春の学生の平均値が最も高かった。入学直後の学生は、生きる力を身につけたいと考えており、また大学教育への期待も高いことが示された。
- ・2年目の学生は、他の学年と比べると苦勞してでも生きる力を身につけたいとあまり思っていないようである。

表2.1.4.1 生きる力の習得についての平均値(全学生)

	「生きる力」を身につけて苦勞してでも身につけたいと思いませんか	「三重大学の生きる力」を身につけて苦勞してでも身につけたいと思いませんか
1年目春	4.37	3.97
1年目秋	4.00	3.58
2年目	3.71	3.39
3年目	3.76	3.30
4年目	3.83	3.39
全学年	3.82	3.42

※得点の幅は1～5点。中点は3点。
※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

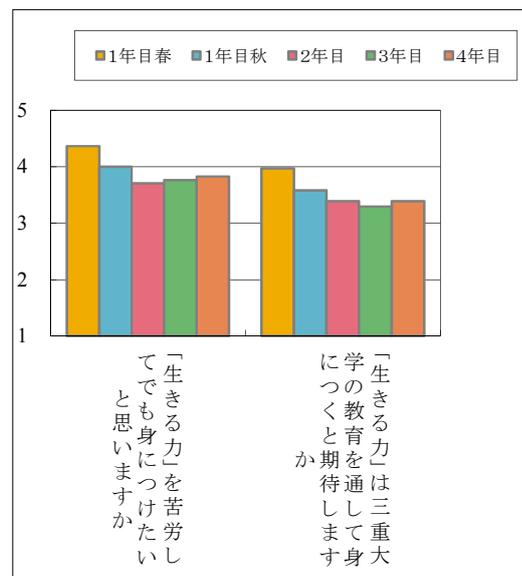


図2.1.4.1 生きる力の習得についての平均値 (全学生)